

ちよつとしい話

～叶わぬ願い～

私はふと思う。今、我々人間が何を目標に願いを起こしているだろうか？突然聞かれても、娑婆に渦巻く欲望のなかで何を目的にしているのか答えるのは難しい。では佛様が何故我々を人間界に送って下さったのか、深く考えた事があつたでしょうか？それは、我々が一番の願望として極楽へ行きたい。そう願わなくてははいけない。と云う事に気が付いていないからです。何故ならば、我々人間を含めて六道を輪廻しないですむように、解脱し、一步でも二歩でも前進出来る、娑婆に生まれて来た事を喜び励まなくてははいけません。經に「極楽は佛の世界で、なんの苦も有りません。もちろん老いる事も死もない。」素晴らしい世界、極楽へ行きたい、と願いを既に起こし、実践してみえる方は少ないと思います。人は療養しようと、しまいと必ず死ぬ。しかしながら極楽往生を願わずに、願いが叶う事はない。願わずに佛の慈悲は頂けない。即ち、極楽往生できない。有名大学受験でも希望した大学に入れる人もいれば、希望しても不合格の人もいる。これが現実です。極楽も閻魔大王の合格、許可を頂かなければ行けないマタマタ同じです。死んで最高の位くらい、極楽へ行く人が少ないのもうなずけます。死して地獄で数百年を過ごす先祖がいれば、この世で子々孫々は苦渋を味あう事になり、ますます、茫々として極楽を見失ってしまいます。現、社会生活を営む爲に発する自我の欲望に目標を定める事が文明の発展を支えてきたのも事実です。その一方で地球の資源を使い、環境破壊をしてきたのも事実です。日進月歩の物は日々後退する物であり、最高の物ではない。忘れていた心呼び戻し、極楽往生を第一希望に、その他の欲望を第二、第三希望として子々孫々の爲に精進努力をしようではありませんか。共生極楽成佛道

善入院油掛地藏尊